困りごと解決ビジネス専科（第40回）

Q. セキュリティ管理を効率化したい

2021.08.02

現在はパソコンに、1台ずつセキュリティ対策ソフトをインストールし、さらに監視ツールなどを導入していますが、ソフトやツールの更新、トラブルへの対応が負担になっています。効率よく管理できる方法はありませんか？

A.総合型のセキュリティサービスを利用しましょう

企業は重要なお客さま情報や機密情報を取り扱うことも多く、一般的なセキュリティ対策のみでは個人情報が流出するリスクが想定されます。

近年、企業を狙うサイバー攻撃の手口は巧妙化しており、世界的なパンデミックや働き方改革に伴うテレワークの増加も影響し、企業向けのインターネット犯罪への対策セミナーが開催されるなど、セキュリティ対策の重要性が見直されています。

ネットワークセキュリティの安全性に必須と言われるファイアウォール・IDS（不正侵入検知システム）/IPS（不正侵入防御システム）・コンピューターウイルス対策機能・Webフィルタリングなどの複合的なセキュリティ機能を集約し、セキュリティ対策に特化した装置・サービスのことを「UTM」と呼びます。

オンプレミス型のUTM

オンプレミス型UTM	
専用機器やサーバーを自社の設備内に設置・運用する方式 「アプライアンス型」と「ホスト型」に分類される	
アプライアンス型 Webサーバーと利用者の間に専用機器を設置する	ホスト型（ソフトウエア型） 既存のサーバーに専用ソフトウエアをインストールする
【メリット】 ・専用機器を設置して独自に運用できる ・1台で複数のWebサーバーを保護できる	【メリット】 ・台数が少ない場合は低コストで利用できる ・インストールするだけで運用を開始できる
【デメリット】 ・拠点ごとに設備やシステム構築が必要になる ・システム更新や技術管理者が必要になる	【デメリット】 ・導入台数が多くなるほどコストがかかる ・サーバーに負荷がかかる

オンプレミス型のUTM装置やソフトウエア製品はユーザー自身で管理を行うため、ハードウエア・サーバーが故障した際や、ソフトウエアの更新が必要となった場合は社内での迅速な対応が要求されます。

社内システムに直接影響するため、導入・運用する際は常に最新のパターンファイル（既知のコンピューターウイルスの特徴を記録したデータベース）に更新し、動作状況の分析を行うことが重要です。

ネットワーク環境がいるクラウド型UTM… 続きを読む